

【兵庫県神崎郡神河町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」で述べられているように、全ての児童生徒の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、ハードウェア・ソフトウェアの計画的な更新とICT環境の整備が必要不可欠です。

神河町では、「第4期かみかわ教育創造プラン（神河町教育基本計画）」を基盤とした、特色ある学校教育を推進するとともに、1人1台端末を効果的に活用し、個々の理解度や学習ペースに合わせることで、一人ひとりの児童生徒の実態に応じた学習計画に基づく学びを目指します。

2. GIGA第1期の総括

国のGIGAスクール構想を踏まえ、令和2年度に全児童生徒分の端末及び学校における通信ネットワーク等を整備し、併せてGIGAスクールの運営支援を業者に委託し、ネットワークトラブル等の早期解決や児童生徒の学習環境に支障が生じないように努めた。また、児童生徒に情報活用能力を身に付けさせるための教職員のICT活用指導力の養成を図るための研修会の開催を実施した。

しかし、通信環境ではネットワーク速度が確保できず、授業でのAIドリルや学習支援システムの積極的な活用が進まなかったため、今後、ネットワーク回線の変更を行い、ネットワーク速度の確保に努める。教職員のICT活用指導力については、教職員間で授業における端末の活用頻度に差が生じている課題もあり、教職員のより実践的なICT活用指導力の向上を目指し、各学校での研修会の取組を充実させていきたいと考えている。

3. 1人1台端末の利活用方策

1. 1人1台端末の積極的活用

各学校において、これまでも積極的に授業や校務におけるICT活用に関する校内研修を実施しており、県や町が実施する研修会にも積極的に参加している。引き続き、計画的に研修会を実施し、ICTを活用した授業を教職員がスムーズに行える環境を整える。

2. 個別最適・協働的な学びの充実

1人1台端末を利活用し学習課題に取り組むことで、児童生徒一人ひとりの特性や理解度、学習進度に合わせた個別最適な学びを進める。

また、児童生徒が自分の考えを取りまとめ、発表や表現をする場合や、教職員と児童生徒、児童生徒同士がやり取りをする等の授業場面に応じた端末の活用を進め、協働的な学びの充実を図る。

3. 学びの保証

不登校や特別支援、日本語指導など、様々な困難を抱える児童生徒に対する支援として、オンライン授業や教育相談など多様な場面で端末を活用した支援を行う。